



## 青年学級②



今年度2回目の青年学級を、12月1日(日)に行いました。

本校を会場に、11名の同窓生が参加し、スポーツやゲームを楽しみました。参加者全員でピン倒しボールをしたあとは、バドミントンなどのスポーツや、ジェンガやトランプなどのゲームで楽しみました。

茶話会では、お菓子を食べながら、仕事や休日の過ごし方など、近況を語り合いました。参加した同窓生の中には、勤務10年を超える方や、パラリンピックを目指して陸上競技に励む方など、様々なお話を聞くことができました。

次年度も、同窓生が気軽に集まれる楽しい青年学級を企画していきたいと考えています。



大谷選手寄贈のグローブで、キャッチボール！

ピン倒しやバドミントン、ゲームコーナーで、楽しい時間を過ごしました。

～茶話会～



初めて参加した同窓生も、和やかな雰囲気の中で、たくさんお話できました。



# 秋田県特別支援学校就労促進フェア

12月13日（金）に、大仙市の大曲交流センターを会場に令和6年度秋田県特別支援学校就労促進フェア(県南地区)が開催されました。このフェアは、県南地区の特別支援学校4校の高等部における就労に向けた職業教育の取組や生徒が培ってきた職業能力について、一般企業等にアピールすることを目的として毎年開催されています。

本校からは、各校の就労促進に係る実践を発表する「夢の実現に向けて」に1名、特別支援学校技能競技会「練成会」のビルクリーニング部門と喫茶サービス部門に1名ずつ、ワードプロセッサ部門に3名が出場しました。また、今年度は作業学習製品の展示に加え、販売も行われ、2名の生徒が担当しました。

実践発表では、3年生の生徒が自分の進路希望の実現に向けて、1年生から校内及び現場実習で積み重ねてきたことや、職業科の授業で学んだことなどを紹介しました。3年間努力を積み重ね、身に付いた力などについて発表すると、参加者の一般企業の方々はうなずきながら聞き入っていました。発表後の会場からの質問に対しても、自分の言葉でしっかりと返答し、落ち着いた対応ができました。

ビルクリーニング部門に参加した生徒は、昨年度の「練成会」と7月の秋田県障害者技能競技大会の結果を振り返り、自分の課題を明らかにして練習に取り組んできました。これまでの悔しさを晴らすことができたことと最高の結果に満足した表情でした。ワードプロセッサ部門に参加した生徒も同様に、これまでの悔しさを晴らそうと、正確かつ速いタイピング、データ編集技術の向上などを目指して練習に取り組んできたことが結果につながりました。惜しくも入賞を逃した2名の生徒については、本当にわずかな差だったと思います。ただ、来年7月の秋田県障害者技能競技大会でリベンジをしたいと早くも来年度の大会を見据えた気持ちを聞くことができました。「練成会」を通じて、5名の生徒たちは、練習を開始したころの不安な表情から、一気にたくましく、頼もしい表情に変わっていました。

作業学習製品の販売を担当した生徒も、お客様がいらした際は落ち着いてしっかり対応できていました。会計を確実に処理するなど、自分の役割をしっかり遂行できました。

今回のフェアは、多くの来場者の方々に稲川支援学校の就労に向けた取り組みを周知できただけではなく、生徒自身もわずか1日の間に自分が大きく成長できたことを実感できたとても有意義な機会となりました。応援してくださった皆様、ありがとうございました。

## ◇実践発表・作業学習製品販売会

佐藤 陸斗さん

藤原 愛海さん

## ◇ビルクリーニング部門

佐藤 凌さん（金賞）

## ◇喫茶サービス部門

大野 鈴華さん

## ◇ワードプロセッサ部門

阿部 響さん（金賞）

齊藤 孝明さん（銅賞）

宮原 颯雅さん

